

合計：約21,107万円（約2.1億円）

① 地域内交通の充実

○ニセコ周遊バスの拡充運行

通年化、両回り等の検討

○冬季移動利便性の向上

- ・町道ロードヒーティング実施
- ・モイワ⇄アンヌプリ間等の除雪実施
- ・登山道、一号線における砂まきの実施

○オーバーツーリズム対策

ニセコモデル、カーシェアの継続

② 受入環境整備、観光地魅力向上

○Wi-Fi導入支援

今後エリアでWi-Fi導入する際の調査事業

○イベント開催支援

イベント等の開催に係る各種費用を支援
※複数者で連携する場合は、補助率アップ

○MICE等誘致委託

MICE実施時の会場代・バス代等の支援

③ 観光協会等のさらなる強化

○組織体制の強化

- ・コンテンツ創出等のための人材強化
- ・地域観光をマネジメントする体制の強化
- ・NPB、羊蹄山麓ほか広域観光の推進

④ 持続可能な観光地域づくり

○町内事業者の基盤強化

- ・キャッシュレス決済導入等DX推進補助
- ・脱炭素、再エネ推進事業補助金の継続

○夏季の誘客に向けた取組の実施

- ・夏の誘客に向けたプロモーションの実施
- ・グリーンシーズンのコンテンツの充実

○景観・環境保全等

- ・ニセコルール、なだれ情報の継続

⑤ 特別徴収義務者事務負担支援

宿泊税の5% ※他自治体は2.5～3.5%

①地域内交通の充実



合計：約8,111万円

事業名	概要	R6 (万円)	R7 (万円)	R8 (万円)
ニセコ周遊バスの拡充運行	通年化（今夏実証運行を実施）、コースの両回りの検討を進めるほか、JR最終便との接続等を図る。 ※バスのドライバー不足が課題	1,776	2,600	3,354 (3,354)
町道等ロードヒーティング	スキー場へのアクセスの際に滑ったり、スタックする車があり、事業者からも要望が多いことから、ロードヒーティングを実施する。 ※導入工事もあるため、費用が大きくなる	—	—	2,445 (21,135)
モイワ⇄アンヌプリ、スキー場アクセス道路間除雪 登山道等における砂まき	事業者から要望が寄せられた項目であり、安全安心確保の観点からも継続して実施する。 ※スキー場アクセス道路追加のため、費用増加	180	200	760 (300)
タクシー ニセコモデルの継続	効率的な配車方法の検討も進めながら、タクシーの増台を行う。 ※国補助等の活用を図っていく（R6は国費活用）	510	1,422	1,440 (1,440)
カーシェアの継続	ニセコ駅、町民センターに継続設置しつつ、より大きな車への車種変更等も検討する。	391	436	112 (449)

※R8の上記はあくまで宿泊税充当額であり、カッコ内は予算総額

※宿泊事業者の送迎連携支援については、足元のSUKIMA BUS等の状況を踏まえながら、いったん予算化は見送り

※自動運転の実装等について、要望が多いことを踏まえ、検討は進める

②受入環境整備、観光地魅力向上



合計：約5,872万円

事業名	概要	R6 (万円)	R7 (万円)	R8 (万円)
Wi-Fi導入調査、実証事業	事業者からの要望も多いエリアにおけるWi-Fiの導入について、具体的な設置の可能性を探るとともに、スケジュール次第で導入に向けた実証事業も行う。	—	—	4,000 (4,000)
イベント開催支援	新たにイベントを開催、あるいは既存イベントにおいて、プロモーションに力を入れたりする等強化を図っていく場合に支援を行う。 (イメージ) ○新規イベント 1者で行う場合：補助率1/2 上限100万円 複数で行う場合：補助率2/3 上限200万円 ○既存イベント 強化を図る場合：補助率1/2 上限100万円	—	—	1,500 (1,500)
ハロウィンイベントへの支援	ハロウィンカボチャによる町内の飾りつけ、イベントの実施のうち、道路や駅の装飾など受入環境整備に資する部分に充当。	—	—	90 (312)
観光ガイドブックの作成	ニセコ町版観光パンフレットの印刷製本費に充当。いまだに紙媒体での需要もあることから、部数を適切に管理しながら印刷を行う。	—	—	82 (82)
MICE等誘致委託	MICE誘致に必要となるバス代、会場費等の負荷を軽減するとともに、ニセコ町の特産品を活用するといった好事例の創出業務委託。	—	—	200 (200)

※R8の上記はあくまで宿泊税充当額であり、カッコ内は予算総額

③観光協会等のさらなる強化



合計：約2,250万円

事業名	概要	R6 (万円)	R7 (万円)	R8 (万円)
コンテンツ創出等組織強化に係る人材の確保	事務局長が期限付きであること、旅行商品の造成をはじめとしたコンテンツ創出等ができていない現状を鑑みて、事務局長（期限なし）を新たに雇用するとともに、旅行業経験のある人材、広報人材等の雇用を行い、観光協会の組織体制強化を図る。	—	—	1,500 (2,500)
地域観光をマネジメントする体制の強化	人材の確保による強化に加えて、地域観光の底上げや広域観光の促進等、地域の観光をマネジメントするための組織体制の強化を検討する。	—	—	250 (250)
NPBの強化による広域観光のさらなる推進	地域連携DMOであるニセコプロモーションボード（NPB）について、マーケティングのさらなる強化や、来訪者満足度調査の実施、データ分析プラットフォームの利活用等を支援し、広域観光の推進を図る。	—	—	500 (973)

※R8の上記はあくまで宿泊税充当額であり、カッコ内は予算総額

④ 持続可能な観光地域づくり(1)



想定：約3,991万円 ※(2)とあわせた金額

事業名	概要	R6 (万円)	R7 (万円)	R8 (万円)
DX推進補助	自動チェックイン機やキャッシュレス決済対応端末等、省人化や生産性向上に繋がる観光DXの導入に対する支援を行う。	—	—	1,000 (1,000)
グリーンシーズンのコンテンツ充実	観光課題であるグリーンシーズンの誘客に向けて、トレイル、フットパス等山岳リゾートに適したコンテンツ開発や、温泉、ガストロノミーなど既存コンテンツ等の連携を図っていく。 ※主体：ニセコリゾート観光協会	—	—	250 (1,000)
夏の誘客等に向けたプロモーションの実施	観光課題であるグリーンシーズンの誘客に向けて、造成したコンテンツやペンションをはじめとした宿泊施設の魅力を発信すべく、SNSやインフルエンサー等を活用しプロモーションを行うとともに、ふるさと納税も絡めたタビマエPRも行う。 ※主体：ニセコリゾート観光協会	—	—	1,385 (2,540)
オウンドメディアによる情報発信	ニセコ価格報道にイメージの誤認識を払拭するために、暮らしのリアルな情報等を発信する。	—	—	352 (462)
ニセコルール等の継続	冬のニセコエリアの自然資源に関する取組であるニセコルールやニセコなだれ情報を継続していくために活用する。	—	—	277 (277)

※R8の上記はあくまで宿泊税充当額であり、カッコ内は予算総額

④持続可能な観光地域づくり(2)／⑤その他



想定：約3,991万円 ※(1)とあわせた金額

事業名	概要	R6 (万円)	R7 (万円)	R8 (万円)
医療・救急体制の充実	冬季間に増加する医療・救急体制の確保のため、観光由来の救急活動に関する経費（2割／消防調べ）を負担。	—	—	343 (1,300)
綺羅街道植栽活動支援	ニセコ町のメインストリートであり、観光道路でもある綺羅街道の植栽活動への支援。	—	—	73 (73)
観光従事者の働きやすさ確保	幼児センターが閉園しているGWや正月（＝観光繁忙期）の子ども預かり場所確保など、子育て世代に対する取組の一部に充当する。	—	—	312 (1,654)

※R8の上記はあくまで宿泊税充当額であり、カッコ内は予算総額

<その他>

特別徴収義務者事務負担支援：約883万円 ※宿泊税収(R7)の5%（他自治体は2.5～3.5%）

⇒各事業の合計：約21,107万円（約2.1億円）（R8税収：約17,650万円+基金：約3,456万円）

※中長期的な活用事業の実施に向けて必要に応じて基金への積立等も検討していく